

# きらり チームほおの木

＜笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい＞

令和2年12月23日（水）  
文責 伊藤 博子

## 修学旅行を終えて

11月18日（水）～19日（木）に、修学旅行に行ってきました。例年ならば、6月に実施していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の予防のため延期しました。11月も半ばになるので気温が低くなるのでは、と、心配しましたが、思いのほか暖かく、子どもたちの活動も充実したものになりました。

いたる場所での検温、活動ごとの手指の消毒等新型コロナウイルス感染症への対応を徹底しながらの旅となりました。1日目は、八木山動物園で様々な動物を見ては驚き、青葉城址から仙台の街並みを見て歓声をあげ、一人2枚の牛タンを焼きながら食べる贅沢な昼食に舌鼓を打ち、科学館でいろいろな体験をし、うみの杜水族館でのイルカショーで水しぶきを浴びて大はしゃぎ。2日目は、五大堂や瑞巖寺を見学しました。社会科で学ぶ歴史が少し身近なものに感じたことと思います。そして、ベニランド。班の友だちと笑顔で乗り物に乗る子どもたち。学校では見ることができない表情をたくさん見ることができました。

体験は、大きな学びにつながります。「百聞は一見に如かず」です。体験して、初めて知ることがあります。子どもたちの感動は忘れることができないものになったと思います。旅行中、行動面について担任の先生から、少し注意されたこともありました。しかし、その後の子どもたちの姿が素晴らしかったです。一人一人が注意されたことをしっかりと受け止め、よりよい行動につながっていました。みんなですれば、いろいろなことが起きます。失敗は当たり前。大事なことは、そこからどう考えて、どう行動するかです。6年生は、この修学旅行を通して、また一つ大きく成長しました。さすが、チームほおの木のリーダーです。

そしてなにより、子どもたちが元気に過ごすことができたのが一番良かったです。事前に子どもたちを指導して下さった先生方、子どもたちの体調を整えて下さった保護者の皆様、本当にありがとうございました。



## お世話になりました

突然、臨時休業になったり、各種行事を中止や延期とせざるを得なくなったりと、いまだかつてない状況に混乱した1学期。新型コロナウイルス感染症対応を徹底し、徐々に落ち着きを取り戻してきた2学期。学校は、その都度先生方と話し合いながら、子どもたちのために最善の方策をと考えてきました。しかし、その分、保護者の皆様には、大変なご苦労とご心配、ご負担をおかけしてしまいました。申し訳ありませんでした。

いまや年末の風物詩となったような「今年を表す文字」。先日、「密」と発表されました。私は、「感」の字を挙げたいと思います。新型コロナウイルス感染症もさることながら、その状況下でも頑張る子どもたちに感動し、保護者の皆様に感謝することが多かったからです。

いろいろあった令和2年も間もなく終わります。現在も新型コロナウイルス感染症の拡大が止まりません。いまだ収束の兆しが見えません。ワクチンの開発が進み、全員が安心して学校生活を送れるようになるには、まだまだ時間がかかりそうです。

でも、令和3年こそは、子どもたちにとって良い年にと願います。令和2年は大変お世話になりました。よいお年をお迎えください。

